

ジュノー探検の旅 ダウントウン・マップ

Juneau Convention & Visitors Bureau

800 Glacier Ave., Ste. 201

Juneau, Alaska 99801

電話：(907) 586-2201 ・ ファックス：(907) 586-6304

フリーダイヤル：(888) 581-2201

Eメール：info@traveljuneau.com

www.traveljuneau.com

ジュノーの多彩な歴史を楽しもう

ジュノー、トリンギト族のルーツ

ジュノー散策では豊富で多彩な歴史をゆっくりお楽しみください。何世紀もの間、ジュノーの先住民族であるトリンギト族の人々は、ガステイノー海峡の海岸沿いで狩りや釣りをしてきました。町歩きでは、素晴らしい先住民族のアートや文化をぜひ訪ね歩いてみてください。トーテムをかたどって彫られたデザインやその他トリンギト族のアートが、ジュノーの最初の住人である彼らの豊かで変化に満ちた歴史を物語ってくれます。

町のはじまり

1870年代、シトカ出身の鉱山技術者、ジョージ・ビルツが金鉱床へ連れて行ってくれる者を探すために懸賞金をかけました。オーク・トリンギト族の首長コーウィーがガステイノー海峡から拾った金鉱片を持って現れました。ビルツは、金鉱を探していたリチャード・T・ハリスとジョセフ・ジュノーを説得して調査に向かわせました。2人は1880年8月にガステイノー海峡に辿り着き、現在のゴールドクリークとして知られる小川で小石を採取しました。彼らはたくさんの金粒を見つけましたが、金鉱床には到達できませんでした。首長コーウィーの求めに応じて、ビルツは2人を送り返しました。この時、彼らはスノースライド溪谷を登り、シルバーボウ盆地で金鉱の主脈を発見したのです。10月18日、彼らは岸辺に160エーカー（約0.6平方キロメートル）にわたる区画を町として杭打ちしました。ほどなくして、探鉱者たちが金を目指して何隻もの舟で押し寄せるようになりました。それがジュノーの町の誕生です。

探鉱の歴史

ジュノーは、ほんの数年で先住民たちの季節的な釣りの拠点から、大規模な硬岩鉱業の中心地へと発展しました。周辺の山は、アラスカ・ジュノー・マインとアラスカ・ガステイノー・マインという2つの大手採掘会社によって蜂の巣状にされました。ダグラス島では、一時、世界的に有名なレッドウェル・ゴールド・マイニング・カンパニーの工場において、960台もの碎鉱機が地響きを轟かせていました。その鉱山は1915年に生産のピークに達しましたが、その2年後、レッドウェル社の4つの採鉱場のうち3つが崩落し、レッドウェル社の探鉱の時代に幕を下ろしました。アラスカ・ジュノー・マインは、第二次世界大戦がもたらした労働力と物資不足のため、1944年に閉鎖しました。しかし今日でも、ロバーツ山には、ジュノー全域の道路よりも長い地下トンネルが存在します。

ジュノーがアラスカの州都に

アラスカ準州の行政所在地として機能してきたジュノーは、1959年1月3日、アラスカが州としての地位を与えられ、州都になりました。ジュノーに暮らす32,000人の住民たちは、アラスカの州都であることに誇りを感じながら、小さなコミュニティの利点や美しい周辺環境、最後のフロンティアでのアドベンチャーライフを楽しんでいます。連邦政府、州政府、および地方自治体が、ジュノーの労働者10人中4人を雇用しています。今日、観光がもっとも大きな民間セクター雇用主となっています。水産業、および鉱業が地域経済の牽引役となっていますが、運輸、医療サービス、教育、小売業の地域のハブとしてのジュノーの役割もまた、地域経済を潤しています。

ジュノーの豆知識！

トンガス国有林のど真ん中にいます

トンガス国有林は北米でもっとも広大な温帯雨林であり、面積は1,700万エーカー（約68,797平方キロメートル）にわたり、アラスカのインサイド・パッセージのほぼ全域が入っています。アラスカ州の州木である巨大なペイトウヒがトンガス国有林に数多く生育しており、そのピンとしてまっすぐ伸びた樹冠と鋭くトゲトゲとした針葉をヒントに見つけることができます。この国有林でよく見られるもう一つの種は、アメリカカツガですが、こちらは樹冠がうなだれたようになっており、柔らかく平らな針葉です。トンガス国有林の古い樹木は、樹齢200歳から700歳にもなります。

はい、正真正銘の雨林です！

トンガス国有林は温帯雨林であり、熱帯雨林とは次の2つの点で異なります。それは、温帯雨林は熱帯雨林に比べてはるかに気温が低いこと、そして、そこに生息する植物種や動物種の数が熱帯雨林よりも少ないことです。しかし、温帯雨林が生物多様性で劣っている点は、温帯雨林のバイオマスが十分すぎるほど挽回してくれています。

道路よりもハイキング道の方が多い

ジュノーは、262.2マイル（約422km）ものハイキング道を有しています！ジュノー南部のセーンから北部のエコー湾までの41マイル（約66km）の道路と比べてみてください！また、ダグラス島には道路が22マイル（約35km）しかありません。米国平均では土地面積1平方マイル（約2.6平方キロメートル）あたり1マイル（約1.6km）の道路があるのに対して、アラスカでは42平方マイル（約109平方キロメートル）あたり1マイル（約1.6km）の道路しかないことを知っていましたか？

白頭ワシ、ゼニガタアザラシ、熊に鯉

海岸沿いや河川、小川でワシを探してみましよう。木々に白い点々がないか確認するのもお忘れなく。すぐにワシがそこら中に見つかるとでしょう。成鳥は頭と尾羽が白く、幼鳥の羽毛は茶色の斑点模様ですからチェックしてみましよう。さらにガステイノー海峡では、ゼニガタアザラシを探してみましよう。アラスカ水域には約74,000頭が休息しています。クロクマやマーモットやヤマアラシが街中に迷い込むことも珍しくありませんが、野生動物や野鳥に決して近づいたり餌を与えたりしないようにしてください。皆様の、そして動物たちの安全のためです。

観光情報

私たちに尋ねてください。ここに住んでますから！

ジュノーの情報サイトのスタッフは、フレンドリーで熱心な地元のボランティアグループです。季節ごとに情報センターが海岸通り沿いに設置されています。観光情報はまた、空港やオークベイ・フェリーターミナルでも見つけられます。

移動手段

ジュノーではキャピタル・トランジット（789-6901）による公共交通機関をご利用いただけます。時刻表はすべての観光情報センターにて入手可能です。メンデンホール氷河、およびオークベイ・フェリーターミナル行きの公共バスはありません。最寄りのバス停はどちらの目的地からも1.5マイル（約2.4km）ほど離れています。トローリーバス、タクシー、ツアー、チャーター車などが皆様の移動ニーズにお応えします。

安全にお過ごしいただくために

ジュノーには楽しみ方が色々あり、人里離れた場所ではさらなる発見があることでしょう。皆様の安全は私たちにとても重要です。次のことを覚えておいてください。

- 交通事故に気を付けてください。ジュノーのダウントウンは活気あふれる忙しい町です。
- 町のどこでも横断歩道を渡ってください。ジュノーの親切なドライバーたちは安全に渡れるよう止まってくれるはずですが、
- 野生動物や野鳥には、絶対に近づいたり餌を与えたりしないでください。皆様と動物たちの安全のためです。
- 天候が変わりやすいので準備を万全にしてください。重ね着をして十分な雨具を持参することが大切です。ジュノーの天気は短時間に変わることがあり、ずぶ濡れになって寒い思いをするほどつらいことはありません！ハイキングに出かける場合は、標識のあるハイキング道から外れないでください。どこに行く予定か、いつ戻る予定かを誰かに伝え、高エネルギーの食糧と水を持ち、十分な情報と地図を携えてハイキングに臨むことが重要です。

役立つヒント

緊急および情報電話番号

アラスカ州警察、市警察、消防署、救急車・ダイヤル911

バートレット・リージョナル病院・796-8900

メンデンホール氷河ビジターセンター・789-0097

アラスカ州魚類鳥獣部

規制関連・465-4180

ライセンス関連・465-2376

天気・586-3997

ジュノー

ダウンタウン・エリア・マップ

見どころ

1. 連邦ビル

中央郵便局、タイムカプセル、アラスカ・ネイティブ展示館。

2. 州知事の家

1912年築のこのエレガントな邸宅は、アラスカ州知事一家の住居。

3. ウィッカーズハムの家

州格上げの主要提案者であり、アラスカ準州法制の立案者であった裁判官ウィッカーズハムの家。

4. 聖ニコラス・ロシア正教会

1894年に建てられた当時のままのアラスカでもっとも古いロシア正教会。

5. エンプティ・チェア・メモリアル

この記念碑は、第二次世界大戦中、強制収容されたジュノーの日本人コミュニティーに敬意を表して寄贈された。

6. スチュワート行政事務所ビル

1928年に建てられた、この旧スコットランド典礼教会には現在、州議会事務所が入っている。

7. アラスカ州議会議事堂*

夏中、無料ツアーあり。州知事事務所や州議会が入っており、歴史的な写真が展示されている。

8. ジュノー・ダグラス市立博物館*

この博物館ではジュノーの歴史と文化に関する展示が行われている。

9. ウィンドフォール・フィッシャーマン

地元芸術家R. T. ウォーレン作の実物大ヒグマのブロンズ像。

10. 州事務所ビル*

この建物の8階の目玉は、復元パイオルガン、トーテム、そしてジュノーとガスティノー海峡を見渡せる素晴らしい眺めの展望デッキ。

11. アラスカ準州守備隊の像

第二次世界大戦中、アラスカの海岸線を侵略から守った何千人もの

先住民兵士に敬意を表して建立された像。

12. アラスカ州立博物館閉鎖中 (2016年まで)

アラスカの歴史、先住民文化や野生動物に関する素晴らしい展示品の数々。ガイド付きツアーあり。

13. ジュノー芸術&文化センター*

地元の芸術家による展示と販売、イベントチケット、レコーディングスタジオ、公共イベントや民間イベントのための会議スペースレンタル。

14. 百周年記念ホール・コンベンション・センター

歴史的な繁華街の中心部で、プロフェッショナルな会議スペース40,000平方フィート（約3,716平方メートル）を提供。ホテルからも便利。

15. 地方自治ビル — 市役所*

市役所の壁には、地元芸術家であった故ビル・レイ作の壁画があり、トリンギト族の創世神話を描いている。

16. ハードロック・マイナー

ジュノーの硬岩採鉱の原点を描いた地元芸術家エド・ウェイ作のブロンズ彫刻。

17. パッツィ・アン

1930年代、蒸気船や来訪者はジュノーのもっとも有名な犬パッツィ・アンの歓迎を受けた。

18. マリンパーク・キオスク (季節限定)

観光情報やパンフレットが入手でき、フレンドリーなサービスが受けられる。

19. 図書館および駐車場*

アラスカ史参考文献、情報、ステンドグラス壁画。

20. 観光情報センター (季節限定)

観光情報やパンフレットが入手でき、フレンドリーなサービスが受けられる。

21. アーチー・ヴァン・ウィンクル・メモリアル

議会名誉勲章を受章した最初のアラスカ出身者に敬意を表して寄贈された記念碑。

22. フィッシャーマンズ・メモリアル

商業漁業に命を捧げた人々を偲ぶモニュメント。

23. USSジュノー・メモリアル

この対空巡洋艦は1942年、市長の妻によって命名されたが、同年、第二次世界大戦の戦場で沈没。

* 公衆トイレがこれらの場所、トランジット・センター、低地側トラム（ロープウェイ）ターミナル、およびトラム・プラザ・ビルでご使用いただけます。

ドックDからロバーツ山のハイキング道入口までは1.1マイル（約1.8km）、パーセビアランス・ハイキング道入口、およびラストチャンス採鉱博物館へはさらに0.75マイル（約1.2km）

= 一方通行
= 横断歩道
= ダウンタウン公共無料バスルート
= 階段
= 駐車場
= トランジット・センター
= クルーズ船ドック

A = AJドック
B = S. フランクリン通りドック
C = インターミディエート・ベッセル浮棧橋
D = クルーズ船ターミナル
E = アラスカ蒸気船ドック
F = シードローム・ドック
= 郵便局
= 歴史的標識